

# 1. 総合水試ふれあいフェアー “遊ぼう・学ぼう・お魚プラザ”

事務局：企画開発推進室

総合水産試験場は、「開かれた試験場」として水産業界の要望に即した試験研究を積極的に取り組むとともに、施設を広く県民へ開放し、特に次代を担う子供たちに対し、水産業への興味と理解を深めさせる役割を担っている。その一環として、10月22日（日）に長崎魚市場で開催された「長崎さかな祭り」と連携し、当事業「総合水試ふれあいフェアー “遊ぼう・学ぼう・お魚プラザ”」を開催した。

フェアーには小中学生を中心とした子供たちやその父兄など954人が魚市場と結んだ無料シャトルバス等を利用して来場し、非常に有意義な催しとなった。主なイベントの内容と来場者の様子などについてその概要を報告する。

## 1 イベント広場

種苗量産技術開発センター前の作業広場にテントを設営し、3つのコーナーを設けて、来場者参加・体験型のイベントを実施した。

### (1) お魚ふれあいコーナー

子供たちが、小型水槽に入れてある巻貝殻やヒトデ、ナマコ、小魚など磯の水産生物に直にふれて、楽しそうに体験学習した。



### (2) お魚なぜなぜ〇×クイズ

広場の中央に〇と×のエリアを設け、参加者に水産関係の簡単なクイズに答えてもらった。



クイズは2回実施し、1回に20問出題した。参加者の多くが全問正解し、パーフェクト賞を獲得した。

### (3) ロープの結び方教室

日常生活で役に立ち、知っておくと便利なロープの結び方を実演指導する「ロープの結び方教室」を開設。参加者は、実際に結び方を担当者から学ぶとともに、帰ってからも練習できる様、わかりやすく図解したパンフレットと練習用ロープをプレゼントされた。

## 2 調査船等の一般公開

水試調査船「鶴丸」(108トン)や、長崎大学の練習船「長崎丸」(842トン)を一般公開し、見学者は船内や展示したパネル、写真などを熱心に見て巡っていた。

## 3 総合水産試験場の研究内容、コンピューターシステム等の紹介

本館研修室において、大型スクリーン映像による長崎県の水産業や総合水産試験場の役割と研究内容などのビデオ紹介を行った。

また、「水産関係コンピューターゲーム」を利用し

たコンピューター体験学習コーナーを開設し、子供たちの人気を博していた。

研修室の廊下には、栽培漁業や資源管理型漁業、漁場環境調査などを紹介したパネルや調査機器、漁海況週報の歴史の展示を行った。また今年度は、国内で初めて映像による撮影に成功したケンサキイカ卵の標本展示とパネルによる紹介を行ない、来場者の関心を集めていた。

#### 4 水産加工開発指導センターの紹介

加工センターの加工実験室を開放し、パネル展示による加工センターの業務内容や加工機器などの紹介、加工製品サンプルの展示などを行うとともに海藻麵の体験試作コーナーが設けられた。

会場には、多数の見学者が訪れ、担当職員に対し熱心に多くの専門的な質問がなされた。また、試食も好評で用意した数がまたたく間になくなった。

海藻麵試作コーナーでは、ワカメペーストを溶液に浸けると固まる反応の不思議さに、子供たちから驚きの声と歓声があがっていた。



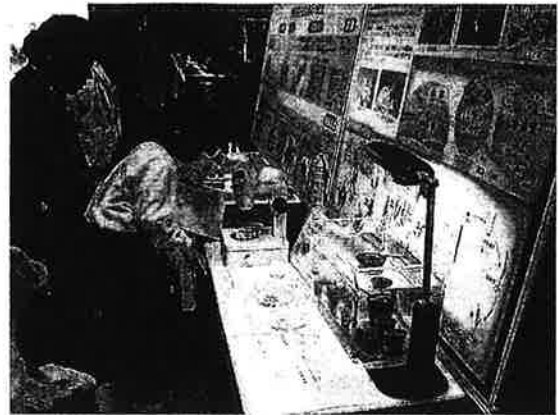
#### 5 種苗量産技術開発センターの紹介

種苗量産棟の内部を開放し、生産している魚介類の親魚や稚魚などを収容した水槽を展示し、また、量産センターの役割や魚介類の種苗生産方法などを紹介したパネルにより見学者に理解を深めてもらった。

ブリ当才魚への給餌体験コーナーでは、楽しみながら子供達が餌やりを体験していた。

また、水中ロボット操縦体験コーナーでは、ROV

を操作して簡単なゲームをやってもらい、ゲームをクリアした挑戦者には優秀賞をプレゼントした。



#### 6 その他

##### (1) 日蘭交流400周年記念展示

今年度は日蘭交流400周年に当たることから、試験研究の立場から見たオランダと日本の水産の関わりについて記念展示を行った。見学者にはシーボルト図譜より作成した絵葉書を来場記念としてプレゼント配付した。見学者は、水産学研究にまつわる日蘭の意外な関わりに興味深げにパネル等を閲覧していた。記念展示の各コーナーは以下のとおり。

##### (1) オランダの水産事情紹介

オランダにおける主な漁獲対象魚種、漁業種類などについてパネルで紹介展示を行った。

##### (2) 日本の魚を最初に研究した人は誰？

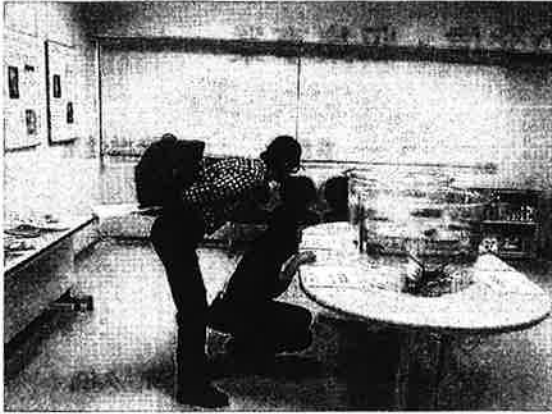
出島にオランダ人医師として滞在し、日本の魚介類研究にたずさわった人物と、分類された魚介類の紹介パネル展示を行った。

##### (3) 日本動物誌（復刻版）の展示

長崎大学附属図書館の協力を得て、同図書館所蔵の日本動物誌（復刻版）魚類編・甲殻類編の展示を行った。

##### (4) 日本動物誌に紹介された魚介類の水槽展示

日本動物誌で初めて学名を記載されたブリ、イセエビを水槽展示した。



## (2) その他

本館ロビーの大型円型水槽（5トン）や小型水槽による「長崎県のさかな」の観察・学習，展示室「まむ・ぱあく」（Marine Amusement Park）の5

つのコーナーによるお魚クイズ，立体映像体験などに子供たちの関心が集まっていた。

また，各イベント会場に備えたスタンプを集めるスタンプラリーを実施し，全会場のスタンプをクリアした人に記念品を配布した。

今年のフェアは，同時開催の「長崎さかな祭り」との連携，シャトルバスの運行に加え，4回目を数えて知名度も徐々に高まっていることなどから，参加者数も過去最高を記録し，盛況の内に終えることができた。反省点もいろいろあるが，事前準備や開催当日における担当職員の努力もあり，来場された方々には喜んでいただけたものと思われる。

（担当：池田）

## 2. 試験研究情報等の発信・収集事業

事務局：企画開発推進室

コンピュータシステムを利用して、人工衛星情報、水産研究文献情報、漁獲情報、魚病情報等の水産研究にとって有用な各種の情報を収集するとともに、「開かれた水産試験場」として、蓄積された情報をもとに各種情報の発信に努めた。

また今年度は、供用開始以来初めての試みとして、漁業者と直接意見を交換し、現場のニーズに添った研究を行うことを目的に、移動水試等を開催した。

### 1) 試験研究情報の収集

#### (1) 人工衛星情報処理システム

人工衛星ノア12号、14号、15号より、九州近海の水温画像データをほぼ毎日受信した。得られた情報はただちに解析を行い、そのうちの一部のデータについてはFAX情報サービスシステムを通じて、情報提供を実施した。

平成12年度情報収集回数：のべ946回

#### (2) 文献データベース

主な水産関係の文献情報を、件収集し、データベース化を実施した。

(文献データベース累積件数)

○国内文献 1,432件

○海外文献 114,341件

計115,773件

#### (3) 資源管理用漁獲統計データベース

県下各地の漁獲、水揚げについての詳細情報を漁獲情報のネットワークにより収集し、データベース化を実施した。

漁獲情報収集の対象地区は以下のとおり

( ) 内は地区数

長崎魚市場	(1)
佐世保市中央卸売市場	(1)
松浦地方卸売市場	(1)
厳原町漁協	(11) 本所, 久田, 浅藻, 豆殿, 久根浜, 佐須, 阿連, 曲, 久和, 内院, 瀬
上対馬町漁協	(8) 本所, 湾外, 比田勝, 泉, 豊, 鰐浦, 大河内, 唐舟志
峰町東部漁協	(1)
上対馬町南部漁協	(1)
杵岐東部漁協	(1)
神部漁協	(1)
五島漁協	(3) 本所, 富江, 三井楽
上五島町漁協	(1)
奈留町漁協	(1)
有川町漁協	(1) 有川
新魚目町漁協	(1) 北魚目第一
小値賀漁協	(2) 本所, 斑
生月漁協	(1)
志々伎漁協	(2) 本所, 宮の浦
小佐々町漁協	(1)
鹿町町漁協	(1)
佐世保市相浦漁協	(1)
平戸漁協	(1)
新星鹿漁協	(1)
薄香漁協	(1)
大瀬戸町漁協	(1)
長崎市東部漁協	(1)
長崎市新三重漁協	(1)

- 長崎市西部漁協 (1)
- 茂木漁協 (1)
- 野母崎三和漁協 (4) 本所, 樺島,  
協岬, 野母
- 小浜漁協 (1)
- 橋湾中央漁協 (1)
- 島原市漁協 (1)
- 県まき網組合 (1)

- マリンラボニュース
- 水産関係リンクページ
- インターネットマムパーク

平成12年度来訪者アクセス回数 延べ13,533人

平成9年7月よりシステムを稼働させ、収集が可能となった地区より、過去の情報も含めて全魚種・全漁法にわたるデータを蓄積した。

データ新規登録件数 合計 4,891,969件  
漁獲データベース累積件数 合計 19,291,690件

#### (4) 魚病情報データベース

県下各地の魚病発生情報を収集し、データベースへの登録を123件実施した。

魚病データベース累積件数 合計 2,247件

#### (5) 海況データベース

県下各海域の海況情報を収集し、データベースへの登録を30,247件実施した。

海況データベース登録件数 合計 92,354件

### 2) 試験研究情報の発信

#### (1) インターネットによる情報発信

インターネット上にホームページを開設し、以下の情報の提供を実施した。

(ホームページの主な内容)

- 総合水産試験場の施設の紹介
- 各部署ごとの業務の紹介
- 事業報告書
- 活動状況報告書
- 漁海況情報
- 最新の試験研究話題のコーナー

#### (2) 音声・FAX情報サービス

音声・FAX情報サービスの運用を行い、以下の情報の発信を行った。

- 漁海況情報
- 人工衛星による水温画像
- 定線観測情報
- 魚病情報
- 赤潮情報
- 最新試験研究情報
- 県内の漁具・漁法情報
- 長崎県水産試験場研究報告全文

システムによる情報発信件数 計 4,802件

#### (3) 情報誌の発行

平成12年11月に「事業の成果と取り組み事例」を発行し、移動総合水産試験場等で配付した。

#### 3) 移動水試等の開催

漁業者と直接意見を交換し、現場のニーズに添った研究を行うことを目的に、移動水試等を開催した。

当日は活発な質疑が交わされ、また研究課題に対する意見や要望等も多く寄せられ、非常に有意義な催しとなった。

#### (1) 青壮年漁業者との意見交換会

県漁業協同組合連合会主催による漁業者交流会長崎県大会の一部として青壮年漁業者との意見交換会を開催した。

開催日：平成12年11月8日

参加者数：120名

(2) 対馬地区移動総合水産試験場

対馬地区漁協青壮年部連絡協議会の協力により、  
同地区漁協青壮年部研修会として、対馬地区移動総  
合水産試験場を開催した。

開催日：平成13年2月8日

参加者数：200名

(担当：末廣)



総合水試 情報収集発信関係 実績

(H13. 3. 30現在)

●情報収集関係

	人工衛星情報 収 集 回 数	文献データベース 登 録 件 数	漁獲データベース 登 録 件 数	魚病データベース 登 録 件 数	海況データベース 登 録 件 数
平成9年度	897	298,943	4,100,006	1,860	0
平成10年度	1,066	115,579	5,327,044	189	37,844
平成11年度	897	118,116	4,972,671	75	24,263
前年度まで	2,860	532,638	14,399,721	2,124	62,107
12年4月	101	8,879	394,270	9	7,130
12年5月	86	9,906	440,463	12	2,017
12年6月	149	9,647	451,605	14	2,548
12年7月	122	8,327	95,314	17	916
12年8月	101	8,977	1,058,023	13	3,070
12年9月	61	9,017	264,186	14	1,738
12年10月	71	9,789	116,184	16	3,169
12年11月	91	11,665	540,727	11	3,083
12年12月	85	8,697	346,888	10	1,906
13年1月	60	8,301	428,251	4	146
13年2月	19	10,049	433,393	2	1,851
13年3月	0	11,087	322,665	1	2,673
平成12年度	946	114,341	4,891,969	123	30,247
合 計	3,806	646,979	19,291,690	2,247	92,354

●情報発信関係

	インターネット (HomePage)訪問	音声・FAX情報 サービス利用件数	そ の 他
平成9年度	3,277	2,168	機関誌2000部
平成10年度	6,635	3,308	機関誌2000部
平成11年度	8,850	3,903	機関誌2000部
前年度まで	18,762	9,379	
12年4月	921	271	
12年5月	982	208	
12年6月	1,375	562	
12年7月	1,135	575	
12年8月	1,105	899	
12年9月	1,045	435	
12年10月	1,265	365	
12年11月	1,182	289	情報誌1000部
12年12月	1,233	354	
13年1月	1,204	240	
13年2月	1,060	254	
13年3月	1,026	350	
平成12年度	13,533	4,802	
合 計	32,295	14,181	機関誌7000部